

東北大学多元研-産総研東北センタージョイントセミナー
(平成28年度 Clayteam 総会 / 第25回 Clayteam セミナー)



SENDAI Declaration of Hybrid Materials

日時	2016年5月30日(月) 13:00~17:20(受付12:30~)
場所	東北大学片平キャンパス 片平さくらホール会議室
主催	産業技術総合研究所東北センター 化学プロセス研究部門 Clayteam 東北大学多元物質科学研究所 (定員150名)

東北大学多元物質科学研究所は、片平キャンパスの伝統ある異分野の旧3研究所(素材工学研究所、科学計測研究所、反応化学研究所)を統合し、2001年4月、「多元的な物質に関する学理およびその応用の研究」を設立目的に掲げて発足しました。

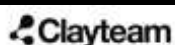
一方産業技術総合研究所化学プロセス研究部門は、『化学ものづくり』のメッカになるべく、産総研の材料や化学分野の工学的な技術ポテンシャルを結集して、2015年4月に設立されました。部門に所属する研究者のうち、半数以上が仙台で研究活動を行っています。

両者は“ナノ”、“ハイブリッド”、“材料”というキーワードで共通項も多いことから、無機ナノ素材を含むハイブリッド材料開発で最先端を走る両研究機関の研究者が一堂に会し、情報交流をすることで、材料・構造・機能について理解を深め、ハイブリッド材研究の動向を展望するとともに、Clayteam企業会員も参画することで成果の社会への橋渡しを議論する機会としたいと思います。

[プログラム] (敬称略)

- 13:00-13:40 Clayteam平成28年度総会
13:40-14:00 休憩
14:00-14:10 開会挨拶
濱川聡 産業技術総合研究所化学プロセス研究部門長
村松淳司 東北大学多元物質科学研究所所長
【座長】林 拓道(産総研)
- 14:10-14:55 「有機分子を用いた次世代多重機能性材料の創製」
◆芥川智行 東北大学多元物質科学研究所高分子・ハイブリッド材料研究センター
ハイブリッド材料創製研究分野 教授
- 14:55-15:40 「単分散無機ナノ粒子のサイズ・形態制御液相合成を軸とした
多元ハイブリッド材料の創製」
◆蟹江澄志 東北大学多元物質科学研究所
プロセスシステム工学研究部門ハイブリッドナノ粒子研究分野 准教授
- 15:40-15:55 休憩
- 15:55-16:40 「酵素-無機多孔質ハイブリッド材料とプロセス開発」
◆角田達朗 産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門副部門長
- 16:40-17:25 「粘土ハイブリッドマテリアルの開発」
◆石井 亮 産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門
機能素材プロセッシンググループ長
- 17:25 閉会挨拶
南條弘 産業技術総合研究所東北センター所長代理
- 17:30~ 懇親会さくらホール一階多目的ラウンジ(参加費:一般5000円、学生3000円)

(内容が変更されることがございますのでご了承ください)



Clayteam事務局

〒983-8551 宮城県仙台市宮城野区苦竹4丁目2-1

産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 機能素材プロセッシンググループ内
Phone&Fax 022-237-3057 E-mail: clayteam-aist-ml@aist.go.jp